

# 議会運営委員会行政視察報告

◆視察月日 1月26日～27日

◆視察市 埼玉県所沢市

神奈川県茅ヶ崎市

◆視察項目

- ・議会基本条例について
- ・決算審査における事業評価について

所沢市議会の基本条例の特徴は、条例に規定された項目の実施状況を議会事業評価として検証を行い、その結果を公表していることである。これにより条例の深化が期待されることであった。また、茅ヶ崎市の条例は素案のパブリックコメントが終わった段階であったが、「・・・しなければならぬ」というような積極的な文言とすべきとの意見等が寄せられたとのことであった。両市条例とも、例えば一般質問における一問一答方式など、現在本市で行われている事項も規定されている。議会基本条例の制定は、本市議会では検討課題とされているが、盛り込む内容もさることながら、制定の必要性、制定後の実施体制も考える必要があると思った。

茅ヶ崎市の決算審査における事業評価は、決算特別委員会の審査として行われている。議会の事業評価の例は全国的にも少なく、茅ヶ崎市も試行の段階を経て21年度が初めての本格的な実施であった。特別委員会



所沢市役所前にて

としての評価を決める際は、委員同士が討議を行って決めていくが、多

数決による場合もあるとのことだった。また、評価結果は市当局を直接的に拘束するものではないが、重く受けとめられているとのことであり、事業評価の成果のあらわれだと思つた。本市では決算特別委員会の質疑を通じて、市当局が議員、議会の意向を酌み取っているが、この事業評価には、事務的な課題（事業の選定方法、事業シート作成など）もあるが、何よりどのような形の評価方法とするのか、委員の意見集約の手法などをどうするのかなどの課題があると思つた。

(庄司)

# 2月臨時会の概要

2月臨時会は2月15日と17日に本会議を開催し、特別職、教育長の給料、議員の議員報酬をそれぞれ引き下げる条例案3件、能代市檜山拠点施設にかかわる条例案3件、秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更、国の補正予算に伴う普通交付税、きめ細かな交付金及び秋田米総合支援助対策事業費補助金に係る一般会計補正予算6億8521万6000円のほか、専決処分した一般会計補正予算を全会一致で承認・可決しました。

総務企画委員会では、拠点施設の利活用について、檜山地域まちづくり協議会を中心に利活用の検討委員会を設置して検討を進めており、現時点で29の取り組みを実施する計画がある、などの答弁がありました。

また、今後のきめ細かな交付金への対応について、今回は通常市単独で対応しなければならぬような維持補修をすることができた。来年度以降の実施は保証されていないが、同様の交付金があれば、維持補修計画の前倒しを図っていききたい、などの答弁がありました。

文教民生委員会では、今後の木造校舎のメンテナンスの考え方について、メンテナンスには多額の費用がかかることから財政的に簡単ではないが、建物維持のためには必要であり、今後計画的に進めなければなら

ないと考えている、などの答弁がありました。

環境産業委員会では、今回、JAあきた白神がカントリーエレベーター建設を計画した理由について、久喜沢ライスセンターの老朽化も理由の一つであるが、一番の理由は農家の高齢化など、農業を取り巻く環境の変化にある、などの答弁がありました。

建設委員会では、公園遊具の整備の考え方について、昨年度、能代地域の用途地域内で地域の拠点となる公園を選定し、ブランコとすべり台を設置する計画を作成し、今回遊具設置の費用を計上している。なお、用途地域外の公園では、現在ある遊具の維持補修を行い、使用不能となつた場合でも少なくとも1基の遊具は設置するつもりである。また、状況の変化があれば、それに応じ対応していきたい、などの答弁がありました。

17日に本会議を再開し、各委員長が審査の経過の概要等を報告した後、各案件を全会一致で承認・可決しました。



(能代市檜山地域拠点施設)